

診療予定 カレンダー

受付時間	日	月	火	水	木	金	土
午前9:00～午前12:00 (初診～11:30)	●	●	●	■	●	●	■
午後2:30～午後6:30 (初診～6:00)	●	●	●	■	●	●	■

2011年5月

日	月	火	水	木	金	土
1 全日	2 全日	3 休診	4 休診	5 休診	6 休診	7 休診
8 全日	9 全日	10 全日	11 休診	12 全日	13 全日	14 休診
15 全日	16 全日	17 全日	18 休診	19 全日	20 全日	21 休診
22 全日	23 全日	24 全日	25 休診	26 全日	27 全日	28 休診
29 全日	30 全日	31 全日				

3日(火)・5日(木)は祝日のため、6日(金)は臨時休診です。
3日(火)～7日(土)まで5連休となりますのでご了承ください。

2011年6月

日	月	火	水	木	金	土
			1 休診	2 全日	3 全日	4 休診
5 全日	6 全日	7 全日	8 休診	9 全日	10 全日	11 休診
12 全日	13 全日	14 全日	15 休診	16 全日	17 全日	18 休診
19 全日	20 全日	21 全日	22 休診	23 全日	24 全日	25 休診
26 全日	27 全日	28 全日	29 休診	30 全日		

当院サイト掲載の情報もご利用ください。<http://www.azusawaseikei.com>

あずさわ通信 第30号

2011年5月1日発行

発行元：あずさわ おもてなしの医療

〒174-0051 東京都板橋区小豆沢2丁目36-13
マツエクリニクビル5F・6F

小豆沢整形外科

☎03-5916-4970 📠03-5916-4977

あずさわ通信

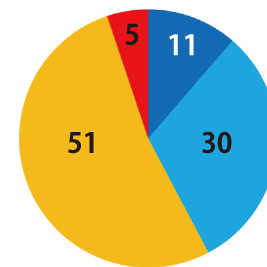
第30号
2011年5月1日発行
あずさわ おもてなしの医療
小豆沢整形外科



院長記事 「原発の事実を知って下さい」

4月16、17日に朝日新聞が、「原子力発電は、今後どうすればよいか?」という電話アンケートを実施しました。結果は、

「やめるべき」が11%、「減らすべき」が30%
に対して、「現状維持すべき」が51%、「もっと増やすべき」が5%でした。この期に及んで「維持」と「増設」を合わせて56%もの人々が原発に賛成。「減らすべき」も合わせれば9割近くが「概ね肯定」しています。



■ やめろ
■ 減らせ
■ 維持せよ
■ もっと増やせ

これには私は驚愕し、そして絶望感に打たれました。この国は存続できるのだろうか?…世界の先進国はもはや原発に見切りをつけて廃絶の方向に進んでいるのに、同じ日本人として私は強い恥を禁じ得ません。

何故いまだに「原発必要」と思い込む人々がこんなにも多いのか?私は、大きく以下の2つの理由があるのではないかと、思います。

- 「電力・経済よりも生命・健康が大切」という生物基本感覚が鈍化している。
 - 大メディアの誤情報に洗脳され、正しい情報を知らず、知ろうともしない。
- 原発が必要と考える日本人の大衆意見はだいたい以下のような感じです。
- ▲「原発は日本の重要な電力エネルギー源だから、電気なくなったら困るでしょ?」
 - ▲「政府も電力会社も安全、と言っているから大丈夫じゃないの?」
 - ▲「原発は他の方法よりも電力コストが安いし、日本は石油がないから仕方ない」
 - ▲「二酸化炭素が原因で地球温暖化しているから、二酸化炭素を出さず地球環境に優しい原発を増やさなきゃ!」

こういう意見を聞く度に悲しくなります。これらは全て完全に誤っています。悪知恵に長け、利権を貪り続けようとする原発関連企業関係者が垂れ流す偽情報を、政府と大手マスコミが信じ、それによって国民が洗脳されている、という構図です。しかし日本人の多くが科学的検証態度で情報を調べれば、こんな真つ赤なウソは直ぐに見破れるのに…。

結論を言います。原発は人類と共存できず、存在してはいけないものなのです。

院長記事 「原発の事実を知って下さい」

紙面が限られているので、今日はここでの一つの「大嘘」を暴きます。もうご存じの方には退屈な話ではありますが、重要なことなので述べておきます。

■「原発は発電コストが安い」←大嘘。

まずこの嘘を打ち砕きましょう。電力会社は「原発は最も発電コストが安い。原発をやめて他の方法を使えばコストが高く電気料金を値上げする必要がある」と言います。

電気事業連合会(全国の電力会社が集まって原発のイメージアップなどを行う組織)は各発電方法のコストを発表しています(発電1kwh当たり何円、で表示)。それによると、

水力11.9、石油10.7、天然ガス6.2、石炭5.7、原子力5.3(円/kwh)

とされ、一見、原子力のコストが最も安いように見えます。

しかしこれはあくまでも、原子力に最もひいき目に見積もった仮定に基づく試算にすぎず、実際に発電にかかったコストのデータを見ると、水力と変わりなくなります。

実は発電コスト計算には隠れたトリックがあります。

原子炉は一旦動かすと100%フル出力で運転しないと安定せず、起動してから安定出力に達するまでに丸1日以上かかり、一度起動したら極力そのまま昼夜ともに運転し続けなければなりません。

つまり電力需要の少ない夜間は電気が大幅に余ってしまうのです。(それが無駄なので、出力調整をできる技術を確立しようとして実験中に失敗し、大爆発したのがチェルノブイリ原発事故です)

夜もフル発電している原発の余った電力は、揚水発電所を利用して一時的に貯めます。揚水発電所というのは水力発電所の一種ですが、電気ポンプを使って水を下流からダムの中に水をくみ上げ、電力需要の高い昼間は逆に水を落として発電するわけですが、揚水発電は一日のうち数時間しか使わないことと、エネルギーロスが大きいこと、設備が高価なため発電コストが非常に高くなります。

揚水発電所は原発とセット運用で、単独運用はしないので原発のコストとするべきですが、政府と電気事業連合会は、これを「水力発電コスト」に計上しているのです!

揚水を考慮した発電コストは次のようになります。(1970-2007平均)

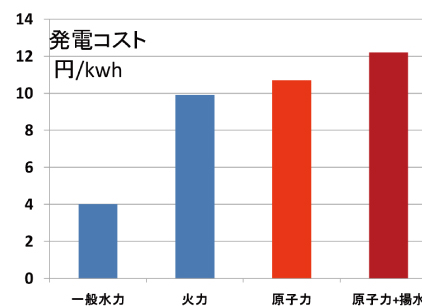
一般水力(揚水除く)3.9、揚水51.9、火力9.80、原子力8.6、原子力+揚水10.1(円/kwh)

と実質的には原発は最も高いこととなります。

それだけではありません。原発は建設費用が大変高いこと、必ず出てくる高レベル放射性廃棄物の処理費用、などは電力会社だけでは賄いきれず、莫大な「政府からの資金投入」(つまり税金)を受けているのに、それをコストに含めていないのです!

原発だけに特別扱いされて投入される税金コストも含めて実態を計算したのが次の数字です。原子力は実際にはムチャクチャ高いコストがかかっているのが実態です。

一般水力4.0、火力9.9、原子力10.7、原子力+揚水12.2(円/kwh)



更にまだあります。この度の原発震災のような災害復旧コストや被害者の補償額は100兆円とも200兆円とも言われ、その額はまだ確定できない天文学的負債です。これは原発を推進あるいは黙認してきた我々日本人全てが責任を負うことになるのです。

しかも放射能汚染は今生きている我々だけではなく子孫にも、他の生物にも何世代にも渡り悪影響を与え、世界中に迷惑をかけます。いつから日本人は「恥を忘れた」民族になったのでしょうか?

たとえ事故が無くても、『高レベル放射性廃棄物』という処理不能の最悪の毒物を吐き出し続けますが、電力会社はこれを100万年間「安全に」(?)管理・監視続けるのだそうです。その危険性とコストは気が遠くなるほどで正確には計算できません。

あなたは原発のために余計に高い電気料金を払わされ、不要な危険と環境破壊を買わされているのです。それでも怒りを感じませんか?

次号に続きます